

## 1) 各庁舎の状況及び建替予定年度等

	城端庁舎 活用法	井波庁舎 活用法	福野庁舎 活用法	福光庁舎 活用法	新築庁舎 整備案
既存庁舎建築年度①	S48	S51	S40	S62	(H31)
既存庁舎建替予定年度②	H45 (15年目)	H48 (18年目)	H37 (7年目)	H59 (29年目)	-
既存庁舎延床面積(㎡)③	4,124	3,362	4,693	6,620	0
車庫等面積(㎡)④	880	880	880	880	880
初年度増築棟・別館・新築庁舎 延床面積(㎡)⑤ ※1	2,219	3,071	1,987	1,864	6,343
初年度延床面積小計(㎡) ⑥=③+④+⑤	7,223	7,313	7,560	9,364	7,223
既存庁舎建替延床面積(㎡)⑦ ※2	3,231	2,630	3,945	4,535	-
既存庁舎建替時総延床面積 小計(㎡)⑧	6,330	6,151	6,812	5,615	-
既存庁舎建替時 推計人口/職員数⑨	41,091人 /269名	39,573人 /260名	45,465人 /293名	34,697人 /234名	(49,054人) /(313名)

※1 既存庁舎活用法では、現庁舎に各部署の人員配置を行い、収容できない人員に相当する延床面積を算出した。(福光庁舎活用法では、別館を耐震改修する)

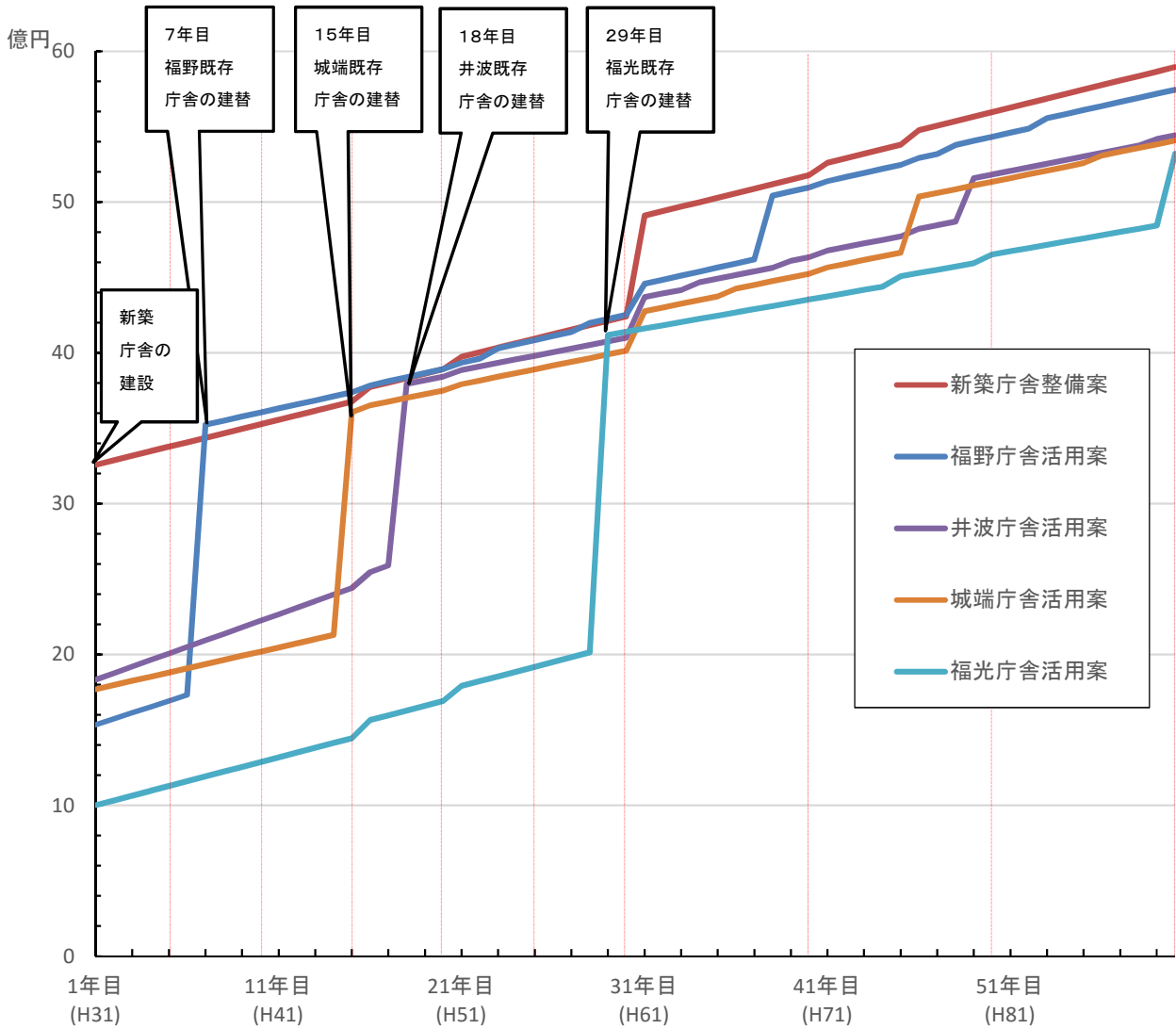
※2 既存庁舎は、耐用年数が経過した②の年度に建替する必要があるが、既存庁舎の延床面積分をそのまま建替するのではなく、建替時に必要とされる職員数⑨に応じた面積規模とする。

## 2) ライフサイクルコスト(LCC)の推移

(単位: 百万円)

	城端庁舎 活用法	井波庁舎 活用法	福野庁舎 活用法	福光庁舎 活用法	新築庁舎 整備案
1年目(初期投資)	1,743	1,790	1,495	970	3,228
5年目	1,881	2,007	1,693	1,129	3,378
10年目	2,020	2,224	3,605	1,287	3,527
15年目	3,606	2,441	3,740	1,446	3,676
20年目	3,751	3,842	3,893	1,693	3,893
25年目	3,891	3,982	4,085	1,919	4,094
30年目	4,015	4,101	4,252	4,140	4,243
40年目	4,525	4,634	5,097	4,354	5,179
50年目	5,135	5,183	5,433	4,653	5,597
60年目	5,408	5,443	5,744	5,320	5,895

## 60年間ライフサイクルコストの比較図(費用の累計額)



- ・ 人口減少に伴う職員数減を考慮し、既存庁舎の建替時に不足する増築分工事費を試算。
- ・ 既存庁舎の建替時にコストが大きくなり、順位が変動する。
- ・ 1年目(初期投資コスト)から28年目までは、福光庁舎活用案が一番低い。